

記載例（盛土・切土）

様式第十五

【共通事項】

面積、高さ、土量については小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで記入してください。

工事の請負契約の注文者、又は請負契約によらないで自らその工事を施工する者を記入してください。
法人の場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の届出書

令和7年 5月 23日

長崎県知事 大石 賢吾 様

工事主 住所 ○○市○○町○丁目○番○号
氏名 盛土 一郎

工事の請負人、又は請負契約によらないで自らその工事を施工する者を記載してください。

宅地造成及び特定盛土等規制法（第21条第1項）
（第40条第1項）の規定により、下記の工事について届出
出ます。

記

1	工事施行者住所氏名	○○市○○町○丁目○番○号 ○○建設株式会社 代表取締役 切土 二郎
2	工事をしている土地の所在地及び番地 (代表地点の緯度経度)	○○市○○町字○○ △△番及び△△番 (緯度: 32度 45分 00.2秒、 経度: 129度 52分 07.1秒)
3	工事をしている土地の面積	11,222.3 平方メートル
4	盛土のタイプ	平地盛土・ 腹付け盛土 ・谷埋め盛土
5	盛土又は切土の高さ	盛土: 5.5メートル 切土: 1.5メートル
6	盛土又は切土をする土地の面積	5,555.5 平方メートル
7	盛土又は切土の土量	盛土 10,000.0 立法メートル 切土 5,000.0 立法メートル
8	工事着手年月日	令和 7年 (2025年) 3月 1日
9	工事完了予定年月日	【記入例】①令和 12年 (2030年) 3月31日 ②令和 12年 (2030年) 3月頃 等
10	工事の進捗状況	【記入例】①建設発生土の最終処分場として実施中で、 高さ1.0m、面積1,000㎡盛土済み。 ②宅地造成中で、造成工事全体の約30% まで終了 等

・申請地内の土地は、地番までその全てを記載してください。
・代表地点の経度緯度（世界測地系）は申請地の中心地点を基本とし、「秒」については位置を正確に表すために小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで記入してください。
【参考】国土地理院「経度、緯度の換算」

平地盛土：地形勾配1/10未満において行われる盛土
腹付け盛土：谷地形以外の斜面、又は溪流内の谷壁斜面等の谷地形以外の斜面において行われる盛土
谷埋め盛土：谷地形において行われる盛土

高さは、現況地盤面と造成後の地盤面の差が最大となる箇所の高さを記入してください。
擁壁等を設置する盛土等の場合、擁壁等も含めた最大高低差を記入してください。

【注意】

- 工事主又は1欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 2欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。

盛土及び切土をする部分の合計面積を記入してください。

西暦も併記してください。

「工事着手」とは、請負契約の締結又はそれに基づく労働者の雇入れ、若しくは資材の搬入の段階ではなく、工事現場において、設計図書等と照合して行う最初のくい打ち等の土地の形質変更が行われた時点を行います。
※別添で工事に着手した年月日がわかる書類（日付が入った写真、記録等）をご準備ください。

土地利用の目的及び提出時点での進捗状況が判るよう記載してください。
※別添で工程表や進捗が判る図面等をご準備ください。